

市立学校園における新型コロナウイルス感染症への対応について (報告)

1. 感染確認状況

- ①9月15日までに、児童生徒22名、教職員4名、合計26名の感染を確認している。(そのうち夏季休業期間中が、児童生徒12名、教職員2名、合計14名)
- ②これまでに学校園においてクラスター(集団感染)は発生していない。

[感染者数等]

	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高校・高専
児童生徒等	—	13名	6名	—	3名
教職員	1名	—	1名	1名	1名
校園数	1園	11校	5校	1校	4校

2. 対応状況

- ①感染確認後、保健所が疫学調査を行い、濃厚接触者及び健康観察対象者を特定している。
- ②その後、濃厚接触者及び健康観察対象者に対してPCR検査を行っている。
- ③臨時休業については、文部科学省の衛生管理マニュアルに基づき、感染した児童生徒等や教職員の学校園における活動状況等を踏まえ、健康局と協議の上、対象や期間を判断している。
- ④学校園において感染が拡大する可能性が低いと判断される場合は、風評被害を防止する観点から、学校園名の公表を差し控えている。

3. その他

- ①学校園において感染が確認された場合に、学校園と教育委員会事務局がスムーズに連携して対応することができるよう、8月18日～20日に全校園長を対象として、情報共有の具体的な方法やPCR検査実施時の役割分担などを内容とする研修会を開催した。
- ②感染者等に対する差別や偏見、誹謗中傷を防止するため、適切な知識を基に児童生徒に指導を行うよう校園長あてに通知するとともに、保護者に対しても呼び掛けを行っている。